

テレワークの種類	在宅勤務	モバイルワーク	サテライトオフィス	狙い	生産性向上	移動時間短縮	非常時の事業継続	顧客満足度向上	WLB向上	オフィス費用削減	通勤弱者対応	創造性向上	優秀な人材確保	省エネ・CO2対策
	○				○	○	○		○	○	○	○	○	○

企業の概要

企業・団体名	株式会社GRCS	本社所在地	東京都
業種	サービス業	総従業員数	121名
事業概要	GRC・セキュリティ関連ソリューション事業		

テレワーク実施概要

雇用上の規定	就業規則
テレワーク担当部署	管理部
テレワーク対象者	在宅勤務を行っても業務に支障がないと会社が判断する場合
実施者数	112名
平均実施日数	月4回以上8回未満程度(概ね週1~2回)

テレワークの導入・拡大の経緯

- 2013年頃から徐々にテレワークが実施できる環境を整え、育児中など従業員個人の状況に応じ実施をしてきました。その後2020年に就業規則にて明文化し、多くの従業員が(お客様等の状況に合わせた範囲で)テレワークを実施している。
- 新しく入社した社員も入社当初からテレワークを実施するなど、コロナ禍以前からテレワークが働き方の一つの選択肢として選べる環境を整えてきた。

テレワークの概要・特徴

- 2013年頃からテレワークを前提とした各種クラウドサービスを導入し環境を整備、育児や介護等従業員の状況に応じて在宅勤務が選択可能だった
- 緊急事態宣言発令後は原則在宅勤務を実施(実施率92%/在宅勤務対象者は全員が1回は在宅勤務を実施)

テレワーク導入の効果(経営にもたらした効果、その他効果)

【効果】

- 8年ほど前からテレワークが可能な就業環境を整えていたため社内にひとつの文化として根付き、特に採用面ではテレワーク等柔軟な働き方が選べることを理由に入社を決めた社員も多数いる。
- 特に子育て中の女性については、テレワークのメリットから優秀な社員を多く採用することができた。
- 当社への入社によってキャリアを諦めることがなくなったという声もある。

【ICT】

- 従業員が増え始めた2013年からテレワークを前提とした社内システムの導入を進め、多くのクラウドサービスを活用している。
- 同時にセキュリティ対策も早期にゼロトラストモデルへ移行し、従業員に対しては定期的な教育を実施することで安全にテレワークを続けている。

【地方】

- 数名ではあるが、地方在住の方を転居なしで採用。テレワーク環境を活かし地方にお住まいのまま就業している。